

3. 業績予想の修正の理由

(1) 通期連結業績

売上高は、畜産・水産飼料における販売数量及び平均販売価格が当初予想を下回る見通しとなったこと等により、減少する見込みです。一方、利益は、畜産・水産飼料の原料価格が想定を下回ったことに加え、採算管理の徹底を進めたこと等により収益環境が改善したことから、増加する見込みです。

(2) 通期個別業績

売上高は、通期連結業績と同様の理由により減少する見込みです。利益も、通期連結業績と同様の理由により増加する見込みですが、前期実績に対する増加率が通期連結業績を上回る理由は、以下のとおりです。

①営業利益・経常利益

通期個別業績には、2025年4月1日付で当社が吸収合併した連結子会社2社（苫小牧飼料株式会社、東北飼料株式会社）の業績を反映しております。一方で、通期連結業績においては当該影響が相殺されますが、畜産飼料の販売数量が前期実績を下回ったこと等による飼料販売子会社の利益減少等を見込んでおります。

②当期純利益

特別損益の計上内容の違いによるものであり、主に、上記の吸収合併に伴い特別利益として通期個別業績に計上した「抱合せ株式消滅差益」が、連結決算においては消去されるため、連結損益に影響しないことによるものです。

4. 期末配当予想について

当社の株主還元方針は、累進配当を基本として、連結株主資本配当率（DOE）3%を目標とすることとしております。

2026年3月期の期末配当予想につきましては、現時点での修正はありませんが、上記の株主還元方針に基づき、通期連結業績の実績等を踏まえて決定してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上